



■ テーマ名 臨床歴史学の試み

■ キーワード

物語、歴史探求、文化遺産、まちづくり、ライフデザイン、社会実践

■ 研究の概要

- (1) オーラルヒストリー（物語）、および対話法によるフィールドワーク研究と、博物館、文化遺産の構造化、歴史探求教育も含めたその成果表現に関する臨床研究をおこないます。
- (2) 歴史総合・歴史探求の教育、歴史の深みからの地域創生／まちづくり、生きる意味・起業・経営をヒストリアから問うライフデザイン、歴史の深みからチャレンジする産学官連携研究をおこないます。

■ 他の研究／技術との相違点

大学を核とした開発、PBLをいかしたキャリア教育

■ 関連業績（特許・文献）

- ① 森栗、佐伯、中尾「大学を核とした共創まちづくり」〔査読付〕2019年6月『実践政策学』第5巻第1号 [31-36頁]、実践政策学エディトリアルボード
https://policy-practice.com/db/5_31.pdf
- ② 森栗他 大阪大学高度汎用力授業「共創型社会開発論」
<https://flipgrid.com/umeda>

■ 研究者から一言

従来、歴史の深みから考えることは重要と枕詞ではいわれますが、社会応用を考える歴史研究は多くはありません。歴史探求教育やフィールドミュージアムなど新しい歴史教育、博物館展示のみならず、大学を核とした開発、留学生人材のPBLによるキャリア開発などで、すでに多くの企業と産学連携教育を実践しています。一緒に、新しい社会、教育を創りましょう。

ご連絡をお待ちしております。

連携実績：公共交通事業者、不動産会社、ベンチャー投資ファンド、家電メーカー、通信大手、ゼネコン、環境起業、教育基金、建設業協会、内閣府、国土交通省、大阪市、大阪府、山口市など